

少し気を配るだけで

「断捨離（だんしゃり）」という言葉が最近よく耳にしますね。必要なものだけを残して、不要なものは処分するということです。確かに、ものが少なくなれば整理整頓が簡単ですし、すっきりしたイメージを焼き付けることはできますよね。でも私は、ものが多くてもそれは可能だと思っています。

校内巡視をしていたときのことです。各クラスの前にある「雑巾スタンド」が目に入りました。あるスタンドには、濡れた雑巾が重ねて干してありました。果たして、次に使うときには乾いているでしょうか。

別のクラスのスタンドの雑巾は、折り目が妙にふくれています。何のふくらみだろうと思って手に取ってみると、雑巾の下から、洗濯ばさみが出てきました。雑巾の上にあるはずの洗濯ばさみが、雑巾の下にありました。洗濯ばさみの上から雑巾を無造作に掛けたのでしょうか。

こんなスタンドもありました。スタンドは表面裏面の両面に雑巾が掛けられるようになっています。しかし、そのクラスのスタンドは、表面だけに多くの雑巾が掛けられていました。裏面には掛けられていません。恐らく、裏面を利用して掛けようという気がなかったのでしょうか。掛けやすさを選んだのでしょうか。

そんな中、写真のようなスタンドがありました。雑巾が美しく掛けられているだけではなく、余った洗濯ばさみがかわいらしく同じところにぶら下がっています。おまけに色が意識されており、ブルーと白に色分けされている点にも配慮を感じます。使えば使うほど汚くなる雑巾ですが、掛け方にこだわり、間隔や色に少し気を配るだけで、整理整頓が印象付き、美しささえ感じられるようになるものです。

このスタンドは一年C組の前にはありました。どんな生徒が使っているか知りたくなりました。（七月二十八日 記）

